

## 令和6年度 外部評価シート

施設名	丹波並木道中央公園	現指定管理期間	令和3年～7年 (5年間)
指定管理者	兵庫丹波の森協会・兵庫県園芸・公園協会共同体	選定方法	公募

## 1 評価項目ごとの評価 (対象期間：令和3年～5年)

評価項目	評価
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本公園については兵庫県のサイクルツーリズムの推進、恐竜をテーマとした施設整備に協力し、設置される施設の管理、新たなイベントの実施のほか、園内歩行者との事故防止等の安全対策を適切に行うことを求めている。</li> <li>● 清掃については園内清掃を計画では週3回としていたが日1回実施し、また警備についても、園内巡視を計画では日1回としていたが日2回行うなど、計画以上の頻度で管理を行うことで異常時に迅速に対応ができる体制が取れていた。</li> <li>● 樹木管理については、樹木、芝生、草地管理を状況に合わせ適宜行っており、特に伐根除草では計画で 13,000m<sup>2</sup> のところ、24,100m<sup>2</sup> 実施するなど、全般的に事業計画以上に実施し、公園の景観維持に努めた。</li> <li>● 公園利用者アンケートによると、「公園の景観」「花壇や樹木などの植栽の手入れ」「公園内の清掃」「施設の使いやすさ」について「満足」「やや満足」の割合が9割を超えており、高い満足度を得ている。</li> </ul>
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本公園では、公園の資源・収穫物を丹波地域の自然や歴史、文化を活かしながら循環させていくため、プログラムやイベントを組み合わせた公園管理を推進している。</li> <li>● 運営業務においては、施設の利用促進を図るため、指定管理者から行政機関・地域団体・個人に積極的に連携を呼びかけ、恐竜化石、自転車など丹波地域や本公園の特徴を活かして、化石発掘イベントや兵庫たんば ワク・パクライド等の企画イベントを実施できている。また、当公園の特徴である園内の間伐材や棚田を活用し、大人の木工体験、棚田体験イベント等の体験プログラムを実施できている。令和5年度には、新型コロナウイルスの影響に伴い自粛していた丹波なみきみちまつり等の大規模イベントを復活開催させた。</li> <li>● 駐車場については令和3年度からサイクルステーション駐車場および第2駐車場の 24 時間開放を開始し、令和6年度からは第1駐車場の 24 時間開放も行き、早朝、夕方、年末年始利用者の利便性向上に努めた。</li> <li>● イベント参加者のアンケートにおける「イベントの感想」では、「満足」「やや満足」が割合9割を超えており、高い満足度を示している。</li> </ul>
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公募時に提案した目標年間来園者数(年間 16 万人)に対して、年度別来園者数は、令和3年度は 20 万人、令和4年度は 29 万人、令和5年度は 26 万人となっている。</li> <li>● 令和2年度から新型コロナ感染症の行動制限があったが、令和3年度に大型複合遊具が設置されたことで来園者は大きく増加した。</li> </ul>
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 植栽管理研修、維持管理作業研修及び遊具点検技能研修等を通じ、維持管理業務の直営化と効率化を図り、経費削減に努めている。</li> </ul>

運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 苦情要望等の対応では電話、Eメール、園内などで随時受け付け、可能なものは即時対応を行い、適切に処理を行った。また、危機管理・異常事態・事故対応マニュアルや不審者対応マニュアルの研修を実施できている。丹波篠山市や県立人と自然の博物館と協力の下、化石発掘体験を開催し、丹波篠山市の恐竜を多くの来園者に紹介できた。</li> <li>● 公園の情報発信の充実度に関する満足度は「満足」「やや満足」の割合が8割近くあるため、引き続き、より多くの人・より広い世代の目に触れるよう SNS やポスターの掲示など、発信方法の工夫を求める。</li> </ul>
その他	—

## 2 残りの指定期間における改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公園の大部分を占める樹木・芝生・草地管理について、要求している管理水準上の回数を満たしつつ、各施設の現況を見ながら適宜修繕を実施し、良好な維持管理が図られているので、引き続き適正管理に努めること。</li> </ul>
--

## 3 次期公募に向けた検討課題等

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本公園は「森づくりから森づかいへ」を基本コンセプトに、丹波の森や文化を背景とした住民参画や、棚田を利用した田植え等、地域がホストとなり来園者を迎える多様なプログラムを実施するなど、計画段階から維持管理段階に至るまで、森の魅力と地域の人々が主体となる企画運営を重視した公園である。指定管理者は本公園の設置目的を理解したうえで、計画以上の樹木管理による景観維持ができており、また森の間伐材を活用した木工体験、園内での棚田体験等の体験プログラムを実施するなど、森の魅力と地域の人々が主体となる企画運営ができていると評価する。</li> <li>● 維持管理全般についても適切に実施できており、新設された恐竜遊具やサイクルステーションとそれらに関する化石発掘等のイベントも好評を得ている。引き続き、積極的な維持管理、イベント企画に努めてもらいたい。</li> </ul>
--

### (参考) 県立都市公園指定管理者候補者選定委員会委員

氏名	主な役職	備考
平田 富士男	兵庫県立淡路景観園芸学校 兵庫県立大学大学院教授	委員長
赤澤 宏樹	兵庫県立大学教授	
宇田 名保美	中小企業診断士	
松田 竜一	兵庫県まちづくり部次長	
山下 紗矢佳	武庫川女子大学准教授	